奈 良県 介護老人保健施設  $\mathcal{O}$ 人員、 施設及び設備並びに運営の 基準に関する条例  $\mathcal{O}$ 部

平成三十年三月二十七日

を

改正す

る条例

かをここ

に

公布す

ź。

奈良県知事 荒 井 正 吾

## 奈良県条例第四十五号

奈良県介護老人保健施設 部を改正する条例  $\mathcal{O}$ 人員、 施設及び設備並 び に 運営  $\mathcal{O}$ 基 準 -に関す る条 例  $\mathcal{O}$ 

一十四年十月奈良県条例第十五号) 奈 良県介護老人保健施設 の人員、 施設及  $\mathcal{O}$ \_ 部を次 てバ 設 備並 のように改正する。 び に 運営 0 基 準 に 関 す る 条 例 平 成

三号を第四号とし、 第五項中 場合の」 第四条第三項ただし書中「) の下に 「以外の介護老人保健施設」 「介護老人保健施設及びユニット型介護老人保 第二号を第三号とし、 及び」を の下に「若しくは介護医療院」を加え、 「以下この項に 第一号の次に次 お 0 11 <del>--</del> て 健施設 同じ。 号を加える。 の」を加え、 に に 同項 改 中 同条 第

二 介護医療院 医師、栄養士又は介護支援専門員

所 に 0 改 第四条第六項各号列記以外の  $\mathcal{O}$ 下に 同項第一号中 医 師、  $\sqsubseteq$ 「病院又は」 を加える。 部分中 を 「介護医療院 「病院又は」 を 又は病院若 「介護医力 Ü 療院 又は は 病院若 に改 8 診 は

第十六条中第五項を削り、 第五条第一項ただし 書中 「病院又は」 第六項を第五項とし、 を 「介護医療院 同 項  $\mathcal{O}$ 又 次 は E 病 次 院 若  $\mathcal{O}$ 項 を加える。 は に 改 8 る。

- 6 け ればなら 介護老人保健施設は、 な 身体的拘束等の適正化を図るため 次に掲げる措置を講じ な
- とともに、 身体的拘束等 その結果に  $\bigcirc$ 適正 つい 化  $\mathcal{O}$ て、 ため 介護職員その  $\mathcal{O}$ 対策を検討する委員会を三月 他の従業者に周 知徹底を図ること に 口 以 上 開 催す
- 身体的 治束等  $\mathcal{O}$ 適正 花の ため  $\mathcal{O}$ 指針を整備すること。
- 実施すること。 介護職員その 他  $\mathcal{O}$ 従業者に対 身体的 拘束等 の適正化  $\mathcal{O}$ ため  $\mathcal{O}$ 研 修を定期 的

第十六条中第七項を削り、第八項を第七項とする

第四 十二条第二項第四号中 「第十六条第六項」 を 「第十六条第五 項」 12 改 8

第四 十六条第二項ただし書中 「病院 又は」 を 「介護医療院 又は 病院若 は 改

8 第四十八条中第七項を削り、 ユ ニッ ト型介護老人保健施設は、 第八項を第七項とし、 身体的拘束等の適正化を図るため、 同項 の次に次の一項を加える。 次に掲げる措

置を講じなければならない。

- とともに、 身体的拘束等の適正化のための対策を検討する委員会を三月に その 結果につい て、 介護職員その他の従業者に周知徹底を図ること。 回以上開催する
- 身体的拘束等の適正化のための指針を整備すること。
- 実施すること。 介護職員その他の従業者に対し、 身体的拘束等の適正化のため の研修を定期的に

第四十八条中第九項を削り、第十項を第九項とする。

第五十五条中「第十六条第六項」を「第十六条第五項」 に、 「第四十八条第八 、項」を

「第四十八条第七項」に改める。

月三十一日」に改める。 附則第六条から第十条までの規定中 「平成三十年三月三十一日」 を 「平成三十六年三

## 附 則

この条例は、 平成三十年四月 日 か 5 施行する。